



立て心よ 行け私よ

No. 5

文責:

2学期スタート 自己実現のために

【2学期始業式 校長先生のお話より】

楽しかった夏休みが終わりました。皆さんは、どんな夏休みでしたか。墨中生、全員、フォーサイト手帳を活用して、悔しさや反省をバネにした「徳川家康」に近づくことができたましたか。

さて、1学期の終業式でも紹介があったように、生徒会長と副会長が、須坂市の他の中学校の代表者と共に、8/6の広島原爆の日の平和式典への出席を始め、広島を訪問してきました。

その式典での小学6年生の子ども代表 平和への誓いの一節です。まず冒頭に、「みなさんにとって『平和』とは何ですか。争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。身近なところにも、たくさんの平和があります。」と。そしてその最後には、「私たちにもできることがあります。自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友だちのよいところを見つけること。みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。今、平和への思いを一つにするときです。被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。」と結びました。

訪問の内容や感想は墨坂祭で詳しく発表してもらえることになっています。また今年は本校の教頭先生に責任者として帯同していただきました。教頭先生にもどんなことを感じたのかを聞いてみることもしてみてください。

さて、1年半前に突如起こったロシアによるウクライナ侵攻。今現在もロシアによるウクライナへの軍事侵攻は続いています。それに対抗してウクライナも反撃しています。また、私たちの代表者が広島の平和記念式典に参列してきたということも含めて、今日のこの始業式でも平和についてもう少し考えて欲しいと思い、ある動画と歌を紹介します。この動画はロシアによるウクライナ侵攻が始まったその日、2022年2月24日のものです。その日のウクライナ州南部ヘルソン州ヘニチェスク市での動画です。ウクライナ住民である老婦人が侵攻してきたロシア兵に対して話しをしている様子です。字幕の白文字がウクライナの老婦人、黄色文字がロシア兵です。

～ウクライナの女性が機関銃持つロシア兵に「何しに来たの」と詰問する動画～

「この種をもっていきなさいよ。あんたがここで死んだとき、そこからヒマワリが生えるように。」



この動画についてある歌が作られました。さだまさしという歌手が作った歌です。偶然にも、昨日の信濃毎日新聞の一面「山ろく清談」にさださんのインタビュー記事が載っていて、そこにもこの歌のことが触れられていました。また、読んでみてください。では聴いてください。2番まであるけど1番のみを流します。

～さだまさし「キーウから遠く離れて」～

さださんがテレビ番組に出演され、この曲を披露するときの話です。

今度の戦争ってライブで中継があるじゃないですか。ウクライナの老婦人がロシア兵に向かって「帰りなさい！」って抗議しているシーンが流れたんですよ。その人が「あんた、ポケットにひまわりの種、入れておきなさい。あんたが死んだ後、私がお花を眺めてやるから」っておっしゃった。それが胸にこたえましてね。命の捉え方っていろいろあるな、と思って。

僕は音楽家なので、銃は撃たない、と決めているんですね。じゃ、銃を撃たない僕がどうやって大切な人を守れるんだろうって随分考えたんです。方法は一つしか思い浮かばなかったですね。それは「戦争を始めさせない」っていうことしかないと思うんです。そのためにやっぱり音楽があり、人の心があり、言葉があると思います。きっと言葉は届くと信じてます。音楽ってというのはきっとそういうものだと思うんですよ。痛みだとか悲しみだとか喜びだとか、そういうものを声を出して共感する、元気に変えていく、音楽にはそういう力があると信じています。

私は、さださんのように歌を作って歌うことはできません。けれども、どうやったら戦争を止められるんだろう、どうやったら支援の力になることができるんだろうって考える続けること、それだけはできます。私として戦争を止めるためにできることの一つ。それはこうして、日本にとって忘れてはいけない広島・長崎への原爆投下、そして終戦があった8月という月に生徒の皆さんに社会科の教師として、戦争や平和について考えてもらうことです。

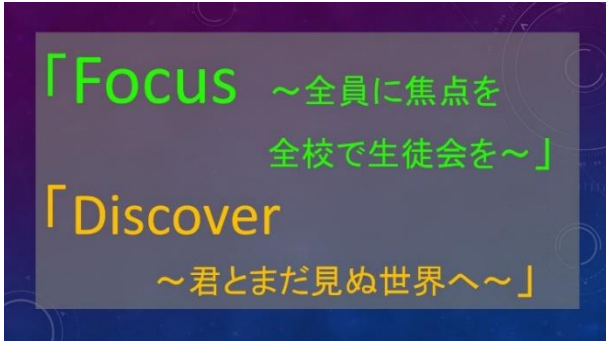


さて墨坂中の夏休みです。三者懇談会やスペシャルアドバンスタイムで自信を深め、課題を解決し、自己更新をしている姿、生徒会役員の皆さんが墨坂祭の準備をしている姿、生徒会サミットや学校保健員会の発表等で活躍している姿、各部活動が練習や練習試合に汗を流す姿、緑化委員の皆さんが花壇に水やりをする姿等がみられました。

皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか。アフターコロナ元年の夏休み今までできなかったことを含めて、家族とゆっくりと過ごした人が多いのではないのでしょうか。朝、昇降口では笑顔で明るい声で挨拶ができる生徒が何人もいて、元気ができました。きっと楽しい思い出がいっぱいで、充実した夏休みだったんだと思います。校長先生は、みなさんが大きなケガや事故もなく元気で登校できたことをうれしく思います。

いよいよ今日から2学期が始まります。暑い夏から秋を過ぎて雪の降る冬まで続きます。87日間という1年間で

一番長い学期です。各学年代表の3名のみなさんがその決意や抱負を発表してくれました。今、発表してくれた3人の友達のように、2学期の目標やめあてを決めた人も多いことと思います。その2学期の出発にあたり、これからの2学期、皆さんに期待することを2つ話します。



まず、1ヶ月後には生徒会最大行事の「墨坂祭」があります。墨坂祭をみんなの力を合わせて成功させましょう。成功させるとは、100日前集会での説明がありましたが、墨坂祭を通して今年の生徒会スローガン「Focus つまり焦点を当てることで今まで見えてこなかった学年、学級を超えた仲間の新しい姿を発見する つまり Discover する」ということです。ぜひ一人ひとりが展示や発表・合唱に

向けて努力を積み重ね、自分の精一杯を存分に発揮する。そして、その過程の中で、それぞれが友を大切に、友達とたくさん話すことで、絆を深めよりよい人間関係を築きあげていくことが、「Focus」につながり、「Discover」になり、目標達成につながります。頑張りましょう。

二つ目は「自律に向け、心を立てて行動をおこすことができる生徒」をめざしてください。自律とは自分の気ままを押さえ、自分の事は自分でやって行くことです。人間楽な方に流されそうになることは沢山あります。みんなが選択するから、自分もそっちに流されてしまおうではなく、自分で考え自分で判断できる中学生になって欲しいと思います。誰かの後について行動する自分、集団でしか行動できない自分ではなく、「ひとり立ち」できる自分を作ってください。それが自律への第一歩です。

3年生にとっては、自分の将来に大きく関わる進路選択の時が、この2学期にやってきます。1,2年生にとっても、あつという間にその時が訪れます。中学の3年間は本当にあつという間です。誰かのためではないのです。ぜひ自分の自己実現のために、今以上に勉強してください。当たり前のことですが、1時間1時間の授業を大切にすることと家庭学習を今以上にしてください。

皆さんに期待することを2つお話ししました。全校464人、先生方47名、みんなで実現させましょう。

資源回収、ありがとうございました

8月26日(土)、厳しい残暑の中、本校PTA主催の資源回収が行われました。本校では、昨年より、地域を回って資源物を回収する方法に戻して実施しています。今年も、地域の皆様からご協力いただき、多くの資源物が集まりました。

収益金につきましては、生徒の活動のため、学校の教育活動の充実のために大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



部活動 大会・コンクールの結果(一部)

大会結果については、HP 上では割愛いたします

デジタルサイネージの導入

学校の情報化の一環として、2 学期よりデジタルサイネージ(映像表示装置)が導入されました。昇降口に設置されており、今のところ、大型ディスプレイに、日程表などが表示されています。表示の内容は自由自在ですので、今後はその他の連絡事項が映し出されたり、校歌等の合唱の動画が流れたりする予定です。墨坂祭等の行事の際にも活用する予定です。



FMぜんこうじ「中学生による提言」

8 月より、コミュニティ放送局「FMぜんこうじ」で、須坂市と長野市の中学生による「環境提言」が放送されています。本校では、2 年前より、生徒会を中心に取り組んでおり、今年も、1 分 30 秒程度の提言を提出しました。

毎週月曜日から金曜日、1 日 3 回(7:30頃 12:30頃 17:15頃)放送されていますが、ローテーションで放送されているため、どこの学校がいつ放送されるのかは、わかりません。ラジオで放送されるものと同じものを、須坂市教育委員会学校教育課または本校ホームページ「校長室から」でも聞くことができます。ぜひ、お聞きください。

須坂市教育委員会学校教育課

<https://www.city.suzaka.nagano.jp/contents/item.php?id=64d2dc0e4b300>

墨坂中学校「校長室から」

<http://www.sumisaka-school.ed.jp/kocho2.html>

○学校生活について、心配なことや不安なことがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。

学級担任はもちろんのこと、教頭や養護教諭もお話をお伺いします。